

令和6年度第2回富谷市地域公共交通活性化協議会 会議録

開催月日	令和6年10月1日（火）							
開催時刻	10時00分			閉会時刻		11時36分		
開催場所	富谷市役所3階 305会議室							
議 事	(1) 富谷市地域交公共交通計画の概要 (2) 公共交通に関する現状と課題の整理 (3) 公共交通に関する目標及び基本方針（案） (4) 今後のスケジュール							
出席の状況（○出席者・×欠席者）								
1	若生 裕俊	○	2	徳永 幸之	○	3	関澤 京子	○
4	吉田 敬	○	5	関 剛史	○	6	佐藤 雅之	×
7	佐藤 桂	○	8	西川 和宏	○	9	遠藤 秀一	○
10	鈴木 俊介	○	11	多田 康則	○	12	中村 信男	○
13	菅原 順子	○	14	門間 とも子	○	15	郷古 直子	○
16	増田 恵美子	○	17	大泉 加津江	○	18	岡崎 ミチ子	○
19	戸根 美津子	○	20	武藤 裕子	○	21	星 貴美子	○
22	高橋 幸恵	○	オブザーバー	齊藤 良太	○	オブザーバー	会津 聡人	○
【代理出席の状況】								
仙台市 都市整備局 総合交通政策部 交通政策課長 佐藤 桂 ⇒ 主査 成田 幸久								
大和町 まちづくり政策課長 遠藤 秀一 ⇒ 係長 菅野 諭志								
株式会社1038 代表取締役 会津 聡人 ⇒ マネージャー 秋澤 敬子 ※オブザーバー								
【傍聴者】3名								

議 事 内 容
1. 開会 (10:00) 2. 市長あいさつ (10:01~10:04) 3. 議事 (10:05~11:16) 議長：徳永副会長 (1) 富谷市地域公共交通計画の概要 (2) 公共交通に関する現状と課題の整理 [議事(1)から(2)まで、関連があるため事務局から一括説明] ○質疑応答（別紙のとおり） (3) 公共交通に関する目標及び基本方針（案） [事務局から説明] ○質疑応答（別紙のとおり） (4) 今後のスケジュール [事務局から説明]

○質疑応答（別紙のとおり）

4. その他 （11：17～11：36）

○ワークショップ「公共交通から考えるトミヤの未来会議」の概要

〔株式会社 Wasshoi Lab から説明〕※オブザーバー

○「公共交通から考えるトミヤの未来会議」ワークショップに参加して（参加者の声）

〔郷古委員から説明〕

○次回協議会の開催予定

〔事務局から説明〕

5. 閉会 （11：36）

記録：企画政策課交通政策推進室

令和6年度第2回富谷市地域公共交通活性化協議会

日時：令和6年10月1日（火）10:00～11:36

■質疑応答

委員等名	内 容（要約）
（１）富谷市地域交公共交通計画の概要 （２）公共交通に関する現状と課題の整理	
星委員	金額や時間の問題などがあり交通手段が理由で進学する高校に限られる場合がある。バスなどの移動時間の短縮についても検討していただきたい。利府高校の場合はバスがないため親が送り迎えしているような状況である。交通手段の有無によって希望する高校に行けない子どもが増えていくことに関して考えていかなければならないと思う。
事務局	通学の交通手段がないために希望する学校に通えない状況もあると認識している。今後の課題として検討したい。
徳永副会長	将来人口について、5 ページは人口ビジョンの将来人口の目標値で、6 ページの社人研の年齢階級別人口となっているが、人口ビジョンで年齢階級別人口を整理しているのであればそれと整合を図り、整理されていないのであれば、誤解されないように記載する必要があると思う。 免許保有率について、今後は若い人でも免許を持たない層が増えてくるのではないかな。利便性の向上のみではなく、そのような層にも公共交通を利用してもらうための働きかけが必要だと思う。
事務局	社人研の推計人口と人口ビジョンの目標人口について、誤解のないように記載を検討したい。 若い人への公共交通の利用促進についても今後の施策として検討したい。
門間委員	公共交通の問題は、これまで高齢者が中心だと思っていたが、学生以外の若い人もターゲットとして考えていく必要があると思った。
徳永副会長	若い人に関しても計画に盛り込んでいただければと思う。
成田委員	15 ページで泉中央駅までの速達性や定時性に支障が生じていると説明があったが、14 ページのパーソントリップ調査の結果では、仙台市方面への交通手段が代表交通手段で整理されているが、今後、駅への端末交通手段も分析する予定はあるか。
事務局	地下鉄利用者の自宅から泉中央駅までの交通手段などの駅端末交通については、過年度の調査で分析しているため、今後の施策の検討に活用していきたい。
徳永副会長	13 ページでは道路交通センサスの対象となっている国道、県道の混雑度を記載しているが、明石台から成田の周辺やその他市道についても混雑状況を把握する必要があるのではないかな。
事務局	七北田西成田線については道路交通センサスの対象外となっているため、道路交通センサスと同程度の調査結果はないが、昨年度に仙台市の交差点交通量調査の結果を活用し、富谷市から泉中央駅までの交差点における流入状況等を分析している。

委員等名	内 容（要約）
鈴木委員	40 ページ基本方針 1 で記載が新交通のみに関連するものと見られかねないため、既存の路線バスについても記載した方がいいのではないかと思います。
事務局	頂いたご意見を参考にしながら基本方針の記載を検討したい。
徳永副会長	宮城交通への質問になるが、17 ページの OD データで乗車数と降車数に差があるが、行きと帰りで異なるバス停を利用するなど何か原因を把握されているか。
鈴木委員	乗降数が異なるのは、富谷市に限らない傾向であるが、明確な理由は把握していない。
（３）公共交通に関する目標及び基本方針（案）	
菅原委員	市民のニーズを把握して利便性を向上させていくというサイクルも非常に重要だと思うが、個人のニーズを高めていくことだけに偏らない方が利用してもらえるのではないかと感じている。高齢者になり交通手段がなく急にバスを利用しても乗り慣れていないと不便に感じて利用しなくなるということもあると思う。自分の生活を公共交通に合わせていくことの意識づけや、公共交通と気候変動との関連などを啓発していくことが安定した利用者数の確保につながっていくのではないかと感じた。
事務局	乗りたいと思えるような行政側からの PR や、ライフスタイルに合わせた公共交通のあり方がこれからは課題になっていくと思う。市民がより使いたくなるような公共交通の施策を展開していきたいと思う。
徳永副会長	ハード的な環境を整備する施策だけでは行動変容に繋がらないと思う。より積極的に行動変容を促すような取組を実施していかないと上手くいかないと思う。併せて基本方針 2 で公共交通以外に移動手段を持たない人という記載になっているが、自家用車を利用できる方でも公共交通を利用していただくことも必要ではないか。
事務局	頂いたご意見を参考にしながら検討したい。
鈴木委員	路線バスは通学や通勤で朝夕に乗客が集中するが、昼間は乗客が少ない状況である。加えてドライバーの労働時間の規制の問題もあり、構造的な部分で課題がある。行動変容に関する議論もあったが、併せて時差通勤、時差通学など社会全体で公共交通の持続可能なあり方を目指していくということも必要かと感じた。 今後の施策が重要であり、評価指標も何をもって PDCA を実施するかということが決まると、この基本方針の記載の仕方でもいいのかという議論も出てくると思う。今後の施策や評価指標の検討に合せて柔軟に対応して頂ければと思う。
事務局	現時点では基本方針の案となっているため、今後の施策や評価指標の検討に合わせて必要に応じて表現等を検討したい。
徳永副会長	今日頂いたご意見を反映しながら、施策や評価指標の検討と合わせて全体を見直していただければと思う。
（４）今後のスケジュール	
質疑なし	